

2025年度 社会福祉法人めやす箱
グループホームめやす箱 事業報告書
(共同生活援助・短期入所)

1. 概要

利用者一人一人を大切にし、法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」、「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」、「職員が働きやすい環境作り」を基本方針として福祉サービスの提供を行った。また、利用者及び家族のニーズや要望を個別支援計画に反映させ、個々に合わせたサービスの提供を行い、入所部門職員一丸となって「サービスの質」と「利用者満足度」の向上に取り組んだ。

(2025年度 事業目標)

- ① 快適な生活が送れるよう、感染症対策及びリスク管理の徹底と衛生的な住環境の整備に努め、安心安全を第一に考えたうえで利用者の生活能力の維持・向上を図る。
- ② 部門権利擁護指針を念頭に支援力の向上を図る。
- ③ 日常生活上の困り感や不安等、誰もが相談しやすい環境作りに努め、迅速且つ柔軟な対応を行う。

① 感染症対策、リスク管理、住環境整備、生活能力の維持・向上について

感染症の流行による様々な制限も緩和されたが、グループホームでは、基本対策を徹底し、衛生管理に努めている。短期入所の居室も毎日利用者が入れ替わるため同様の対応を行い、階段や廊下なども実施時間を定めてこまめな清掃を心がけた。共有スペースの空気清浄機や飛沫防止の亚克力板もそのまま常設とし、希望に応じて居室で食事を摂れる個別対応や時間差で食事を提供し食堂内の人数を調整する対応もそのまま継続している。また、職員のマスク着用が任意になったことから、利用者のマスク着用も任意に切り替えているが、グループホームでは感染者が出た際に拡大するリスクも高いため、勤務中は可能な限りマスクを着用するよう、職員へ依頼している。

2025年度は10月に青江Ⅱ、12月に青江Ⅲで新型コロナウイルスに罹患した利用者が1名ずつ出ているが、いずれも他者への感染は食い止めることができています。また今年度は集団感染（クラスター）に至ることがなく年度を終えることができています。今後も発生状況や対応手順、日々の体調や状況など情報共有の重要性、日々利用者を観察し些細な変化を見逃さないこと、消毒や換気、感染利用者の対応方法

など職員に定期的に指導・周知する機会を設け、感染予防を徹底し、利用者が安心できる環境整備に努めていく。

リスク管理面では、通院を伴わない軽微な事故（事故報告書①）が4件挙がっている。器物破損などの事故に関しては季節の変わり目による情緒変動や環境設定への配慮不足も要因の一つと考えられる。特に強度行動障害を有する利用者の情緒に関しては、細やかな情報共有や対応方法の統一・強化が必須である。専門的な知識を身につけて利用者の安全を確保し、質の高い支援を提供するため、2025年度は2名の職員を強度行動障害支援者養成講習（基礎・実践）に派遣し、事業所でフィードバックを行っている。統一した支援のもとで情緒の安定を図り、安心、安全に過ごしていただける環境、体制を整備していく。また、職員会議や個別検討会議を通して、情報共有方法の見直しや再発防止策の振り返りを行っていくとともに、過去のヒヤリハットや事故報告書をもとにKYTを実施し、個々のリスクマネジメント力向上を図っていく。

グループホームIV棟に関しては4月にJKAから6千万円の補助金の助成が決定している。2026年度4月開所予定とし、新規利用者の契約や備品の購入など、全職員が協力して準備を進めている。建物自体は滞りなく準備を進めることができていたが、電話回線の工事が想定以上に時間を要したため、開所が4月13日となってしまった。それに伴い、利用者の入居もずれ込んだため、4月は6名の受入れに留まっており、新規利用者10名の入居完了は5月中になる予定。IV棟目の新設を踏まえ各棟の業務精査及び新規利用者の障がい特性把握に努め、利用者個々が快適な生活が送れるようサポートしていく。また安心安全を第一に考えたうえで利用者の生活能力の維持・向上を図っていく。

② 権利擁護、支援力の向上の取り組み

昨年度に引き続き生活介護・入所部門の権利擁護指針をもとに毎月重点目標定め、職員会議の場で各職員の1ヶ月の取り組みについて報告を行い、意識向上と情報共有を図っている。また、部門会議で各事業所の取り組みを報告し、部門全体でも情報を共有している。

重点目標を定め通年で取り組んでいくことで、言葉遣いやプライバシーに関する情報共有の方法、隠語の使用や自己選択できるコミュニケーション方法の提示等も改善・定着してきており、徐々に意識も向上している。しかし特定の利用者ではあるが、職員が伝えた言葉を自身に都合よく解釈し、トラブルに繋がったケースが何度かあった。伝え方によっては誤解や混乱を招いてしまうこともあるため、個々の特性に配慮しながら統一した対応が行えるよう、全職員で利用者の特性や対応時の注意点について再確認を行っている。

2025年度の満足度調査結果については、回収率87.5%（回収数21部／配布数24

部)。全 18 項目で「満足している」と回答された割合は、全体の約 94%、「わからない、どちらともいえない」と回答された割合は 0.5%、「不満がある」と回答された割合は、全体の 0.13%となっている。数値だけ見ればかなり高い評価をいただいているように思える。厳しい意見や指摘は挙がっていないが、いただいた希望や要望を真摯に受け止め、サービス改善と支援の質向上に取り組み、2026 年度も更なる満足度の向上を目指していく。また引き続き、権利擁護指針を意識して職務を遂行し、高い意識を維持できるよう啓発に努めていく。また、単独で業務する時間帯がある青江Ⅰ・Ⅲについては、他棟で勤務する職員が適宜確認やフォローに入るよう業務体制を見直し、単独業務による気の緩みをなくしていくよう取り組んでいる。

支援力向上に関しては、生活介護部門勉強会や他部門の勉強会、事例検討、事例報告会に職員を派遣し、学びの機会を担保している。また、職員会議の中で権利擁護や障害特性に関する勉強会を開催し、定期的にセルフチェックを行うことで自身の支援を振り返る機会を設けている。その他にも身体拘束・虐待防止委員会から発信された研修資料をもとに勉強会を開催し、職員の意識向上に取り組んでいる。利用者の日々の状況や特性を見極め、情報の共有化や支援の統一化によって支援の質を向上させ、定期的に自身の支援を振り返る機会を設けていくことで、今後も高い意識と正しい知識を育んでいく。ただグループホームの勤務形態上、各職員が万遍なく他部門の勉強会などに参加することが難しいため、職員個々の育成にも注力し課題改善に繋げていく。

③ 相談しやすい環境作り、迅速且つ柔軟な対応

2025 年度は職員の入れ替わりも多く、未経験者もいたため、特性理解の指導は勿論だが特に権利擁護に重点を置き、接し方や関わり方などコミュニケーションの質向上に注力している。どの職員にでも相談できるよう、誰に相談しても回答や対応に差が生じないように、全職員で利用者個々の課題やアプローチ方法を共有している。また、利用者や家族からの相談に対して迅速に対応できるよう、管理者と主軸となる中堅職員に情報がいち早く伝わるよう情報共有体制の見直しを図っており、今年度は家族や利用者から要望等に関する不満の声などは満足度調査からも挙がってきていない。次年度からは各棟にリーダーを配置する予定となっており、現状の情報共有体制を更に強化することで、満足度の向上に繋げていきたい。

外出活動に関しては利用者の要望を真摯に汲み取ることを心掛け対応することで以前に比べ、外出先や活動内容を幅広く選択できる機会が増えており、イベントへの参加や県外への外出など、休日の楽しみの確保に繋がっている。また、昨年度好評だった取り組みとして夏（かき氷、花火）と冬（個別外出、夜間のイルミネーション鑑賞）にグループホーム独自のイベントを実施しており、いずれも利用者や家族から高い評価をいただいている。今後も季節感のある行事を開催し、グループホ

ームで楽しい生活が送れるよう努めていく。

2026年度は現行の勤務形態や職員育成などの課題を1つずつ解決していきながら、利用者が安心・安全且つ快適な生活を送り、家族が安心して任せられるグループホームを目指し、更なるサービス、支援の質向上に取り組んでいく。

2. 利用者・職員の状況

(1) 共同生活援助 実人数（定員24名）（単位：名）

年 月	2025 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026 1月	2月	3月	合計
実績数	658	649	643	674	616	618	674	654	655	622	616	669	7748

(2) 短期入所 実人数（定員2名）（単位：名）

年 月	2024 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026 1月	2月	3月	合計
実績数	24	25	41	33	27	25	63	58	60	53	55	55	519

(3) 利用（開所）状況（単位：日）

年 月	2025 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026 1月	2月	3月	合計
共同生活援助	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
短期入所	17	18	24	23	16	16	31	30	31	31	28	31	296

(4) 職員の状況（2026年3月31日現在）（単位：名）

区分	管理者	サービス 管理責任者	生活支援員	世話人	合計
常勤職員	1	1	7	5	13
非常勤職員				1	1

※ サービス管理責任者は生活支援員を兼務。

※ 常勤職員1名は生活支援員と世話人を兼務。

※ 夜間支援：宿直体制にて1日につき2名を配置。

(5) 職員の勤務体制 (2026年3月31日現在)

AM 勤	6:30~10:00	3.5 時間
A2 勤	6:30~ 9:30	3 時間
A3 勤	7:00~10:00	3 時間
B 勤	7:00~16:00	8 時間 (60 分休憩)
B2 勤	7:00~13:00	6 時間
C1 勤	7:00~12:00	5 時間
C2 勤	6:30~12:00	5.5 時間
C3 勤	6:30~12:30	6 時間
D 勤	6:30~15:30	8 時間 (60 分休憩)
E 勤	12:00~21:00	8 時間 (60 分休憩)
F 勤	15:00~21:00	6 時間
G 勤	15:30~21:00	5.5 時間
H 勤	10:00~19:00	8 時間 (60 分休憩)
I 勤	11:00~20:00	8 時間 (60 分休憩)
J 勤	15:30~20:30	5 時間
K 勤	10:00~17:00	6 時間
L 勤	21:00~6:30	8 時間 (90 分休憩)
S 勤	9:00~18:00	8 時間 (60 分休憩)
AP1 勤	6:30~10:00、16:00~21:00	8 時間
AP2 勤	6:30~ 9:30、16:00~21:00	8 時間
AP3 勤	6:30~ 9:30、15:30~20:30	8 時間
AP4 勤	7:00~10:00、16:00~21:00	8 時間
P 勤	16:00~21:00	5 時間

(6) 主な年間行事

実施月	実施行事
4 月	お花見 (酒津公園)
6 月	避難訓練 (水害)
8 月	夏祭り (かき氷、花火)
9 月	避難訓練 (震災)
12 月	クリスマスツリー飾り 個別外出① (外食、イルミネーション鑑賞)
1 月	個別外出② (外食、イルミネーション鑑賞)
2 月	個別外出③ (外食、イルミネーション鑑賞)

3 月	避難訓練（不審者対応）個別外出④（外食、イルミネーション鑑賞）
-----	---------------------------------

3. 施設整備

1) エアコン（1台）洗濯機（1台）購入 処理年月日：2025年7月11日

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
器具及び備品取得支出	291,500	自己資金	291,500
計	291,500	計	291,500

2) エアコン（2台）購入 処理年月日：2025年7月31日

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
器具及び備品取得支出	242,000	自己資金	242,000
計	242,000	計	242,000

3) エアコン（2台）購入 処理年月日：2025年10月21日

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
器具及び備品取得支出	242,000	自己資金	242,000
計	242,000	計	242,000

4) 洗濯機（1台）購入 処理年月日：2025年12月18日

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
器具及び備品取得支出	150,700	自己資金	150,700
計	150,700	計	150,700

5) 洗濯機（5台）冷蔵庫（1台）購入 処理年月日：2026年3月31日

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額（円）	項目	金額（円）

器具及び備品取得支出	858,800	自己資金	858,800
計	858,800	計	858,800

6) グループホームIV棟購入 (建物) 処理年月日：2026年3月31日

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
器具及び備品取得支出	108,000,000	自己資金	108,000,000 内訳 60,000,000 (JKA補助金) 40,000,000 (福祉医療機構) 8,000,000 (自己負担金)
計	108,000,000	計	108,000,000

7) 土地 購入 処理年月日：2026年3月31日

事業収支			
収入内訳		支出内訳	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
器具及び備品取得支出	33,000,000	自己資金	33,000,000
計	33,000,000	計	33,000,000

4. 今後の課題

- ・2026年度4月からグループホームIV棟が開所となる。新規事業所が開設することで見えてくる課題をスムーズに対処できるよう、各棟の業務精査及び新規利用者の障がい特性把握に努め、利用者個々が快適な生活が送れるようサポートしていく。また施設利用者が重度化（高齢化、強度行動障がい有している利用者増）をしていくことを踏まえ、各職員の専門性向上に注力していくことはもちろん、ハード面での環境整備にも注力し、安全・安心して利用できる事業所作りにも努めていく。
- ・IV棟新設に伴い、宿直者の人数が足りていない現状がある。引き続き各部門に協力を依頼しながら、宿直者の育成・確保に努め、職員個々の負担が分散できるようアプローチしていく。
- ・グループホームの勤務形態上、人材が定着しにくい現状からも、昨今の人手不足で人材確保に苦慮しているが、福祉という職業に関心を持ってもらう取り組みと並行して、今現在法人で働いてくれている職員に仕事を続けてもらえるよう、労働環境の適正化にも力を入れていかなければならない。職員処遇や労働環境を整え、「長く勤められる働きや

すい職場作り」を推進していくことで、人材確保・人材定着に繋げていく。知識や経験の豊富な職員を確保し、支援の質を向上させていくことにより、利用していただいている全ての方々に支援で還元していく。

2025年度 社会福祉法人 めやす箱 生活介護部門 年間稼働実績

ブルー・キャンパス (定員：20名)	4月 (2025)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 (2026)	2月	3月	統計
開所日数 (単位：日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20		240
延べ利用者数 (単位：名)	442	442	451	478	417	401	453	425	439	426	398		4,772
一日平均利用者数 (単位：名)	20.09	20.09	20.50	20.78	19.85	19.09	19.69	19.32	19.95	19.36	19.90		19.88
稼働率 (単位：%)	100.45%	100.45%	102.50%	103.91%	99.29%	95.47%	98.47%	96.59%	99.77%	96.82%	99.50%		99.42%
目標達成過不足 (単位：名)	24	24	33	41	18	2	16	7	21	8	18		212
登録利用者数 (単位：名)	25	25	25	25	25	25	24	25	25	25	25		年間目標 稼働率 95%
待機登録者数 (単位：名)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		

※11月 返戻（支給量オーバー）あり 延べ利用者数426名→425名に修正

カラフル (定員：20名)	4月 (2025)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 (2026)	2月	3月	統計
開所日数 (単位：日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20		240
延べ利用者数 (単位：名)	423	427	418	449	389	383	421	393	428	427	378		4,536
一日平均利用者数 (単位：名)	19.23	19.41	19.00	19.52	18.52	18.24	18.30	17.86	19.45	19.41	18.90		18.90
稼働率 (単位：%)	96.14%	97.05%	95.00%	97.61%	92.62%	91.19%	91.52%	89.32%	97.27%	97.05%	94.50%		94.50%
目標達成過不足 (単位：名)	5	9	0	12	-10	-16	-16	-25	10	9	-2		-24
登録利用者数 (単位：名)	24	24	24	24	25	24	24	24	25	25	25		年間目標 稼働率 95%
待機登録者数 (単位：名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

スマイルライフ (定員：20名)	4月 (2025)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 (2026)	2月	3月	統計
開所日数 (単位：日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20		240
延べ利用者数 (単位：名)	412	406	435	446	391	370	441	404	361	383	354		4,403
一日平均利用者数 (単位：名)	18.73	18.45	19.77	19.39	18.62	17.62	19.17	18.36	16.41	17.41	17.70		18.35
稼働率 (単位：%)	93.64%	92.27%	98.86%	96.96%	93.10%	88.10%	95.87%	91.82%	82.05%	87.05%	88.50%		91.73%
目標達成過不足 (単位：名)	-6	-12	17	9	-8	-29	4	-14	-57	-35	-26		-157
登録利用者数 (単位：名)	29	30	29	29	29	29	28	28	27	26	26		年間目標 稼働率 95%
待機登録者数 (単位：名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

スリーピース (定員：20名)	4月 (2025)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 (2026)	2月	3月	統計
開所日数 (単位：日)	22	22	22	23	21	21	23	22	22	22	20		240
延べ利用者数 (単位：名)	438	440	454	473	428	411	459	434	361	447	401		4,746
一日平均利用者数 (単位：名)	19.91	20.00	20.64	20.57	20.38	19.57	19.96	19.73	16.41	20.32	20.05		19.78
稼働率 (単位：%)	99.55%	100.00%	103.18%	102.83%	101.90%	97.86%	99.78%	98.64%	82.05%	101.59%	100.25%		98.88%
目標達成過不足 (単位：名)	20	22	36	36	29	-9	-4	-4	-57	29	21		119
登録利用者数 (単位：名)	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24		年間目標 稼働率 95%
待機登録者数 (単位：名)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

部門合計	1,715	1,715	1,758	1,846	1,625	1,565	1,774	1,656	1,589	1,683	1,531	0	18,457
部門稼働率	97.44%	97.44%	99.89%	100.33%	96.73%	93.15%	95.72%	94.09%	90.28%	95.63%	95.89%		96.04%

※ 災害や感染症による開所の可能性もあり、開所日数は事業所によって異なるため、部門稼働率は各事業所稼働率の平均値で算出。

【利用予定者数】	月	火	水	木	金	土	備考欄
ブルー・キャンパス	20	21	20	22	21	13	土曜日のみ受け入れ可能。
カラフル	20	20	20	20	20	20	空きなし。
スマイルライフ	19 (1)	21 (1)	21 (1)	19 (2)	18 (2)	14 (1)	土曜日のみ受け入れ可能。 () は次年度卒業生受け入れ人数。
スリーピース	21	21	21	21	21	20	空きなし。

※ 変更があれば黄色の網掛けを入れ書記へ送信（メール文面でも伝達）。